

# 輝け！花尾中

文責：和田 義則

学校教育目標 「**基本的な生活習慣の確立のもと、共生の精神と探究心に満ちた心身共に健全な生徒の育成**」

## 農村宿泊体験学習 第2学年 10月24日～26日 熊本県小国町

農泊体験学習の三日間、熊本県小国は、台風が過ぎ去った後のさわやかな晴天に恵まれました。この3日間、受入れ家庭の方(小国のお父さん、お母さん等)との出会いを通して、家族の大切さと、命を育む農業の大切さ等を学んでほしいと考えていました。受入れ家庭の巡回に行きましたが、生徒は泥まみれになって野菜の収穫等、まじめにがんばっていました。そしてその姿を見ている小国のお父さんとお母さんのあたたかい笑顔が心に残っています。退村式で、お別れするときに涙を流す生徒がいましたが、短期間でも出会った人の優しさにふれて、感謝の気持ちで涙が出たのでしょう。そのような温かい出会いができたことは、人生の中でかけがえない事だと思います。これからも一つ一つの出会いを一生の宝物と考え、これから出会う人を大切にすることが育つことを心から期待しています。



### ○実行委員の感想

実行委員になって体験学習が、2年生にとってよいものになるように何度も会議を重ねてきました。スローガン等、様々な活動をする中で、たくさん悩み、大変なこともありましたが、みんなのために働く喜びを学ぶことができました。解散式でみんなの前に立った時、実行委員としての苦勞と農泊学習での楽しさが思い出され、達成感があふれ、解散式が終わった後、「楽しかった。」という声が聞こえてきたので、僕たちがやってきたことが役に立ったのではないかとうれしく思いました。人のために働くことができてよかったと思います。



今回の農泊学習は、実行委員の取り組みに関しても、自分の成長につながるとてもよいものになったと思います。人のために苦勞するというのをこれからも率先していこうと思います。



私が農村宿泊体験学習で心がけていたことは、感謝の一言です。ご飯を用意してもらった時、普段ではできない経験をした時、「ありがとう。」のたった一言で全てが伝わるような気がするからです。

食事づくりのときに、私の食べることができない食材があり、農家の方が調理器具や食材等を配慮して下さり、農家の方の優しさと心遣いに触れました。また、芋掘りをしたときに、日の当たらない場所では育ち方が違うことがわかり、改めて野菜を育てることがとても手のかかることだと実感しました。私は母から「さつまいも、いる？」と聞かれたときに、だいたい「いらない。」と答えていました。今まで「いらない。」と答えていたことが、とても軽すぎて絶対言えないと心から思いました。



農泊では、今までに体験したことがないようなことばかりで、作業中は皆真剣に取り組み、作業が終わって農家の方や班で話をするときは笑顔が溢れていてとても良い雰囲気でした。作業を必死にすることで得るものがたくさんあるなと思いました。倒れた稲を縛っていたひもを一つずつ取るという地道な作業を黙々として、全て終わったときの達成感や、農家の方に「今まででの生徒の中で一番役に立った。ありがとう。」と言っていた時にとてもうれしかったです。私は農業は大変なことばかりと思っていたけれど、それ以上に楽しいことや良いことがたくさんあるということを知ることができました。



私は、実行委員をしたことで味わうことのできた達成感や感動は本当に忘れられない思い出になりました。準備期間は不安な気持ちが大きく悩むこともありましたが、実行委員のメンバーやクラスの皆がそっと手をさしのべてくれて乗り越えることができました。

農泊では、豆ちぎりやブルーベリージャムづくり等、どんな作業も楽しくすぐに終わってしまいました。最終日、退村式では泣いている人がたくさんいて、私も農家の方とお別れするときは涙があふれていました。「最後までお疲れ様。」と言っていたら、初めて大きな達成感と感動を味わうことができました。



農泊では、チェーンソーを使った薪割り、草刈り機を使った草刈り、しいたけの収穫などをしました。農家の方は、ものすごく僕たちに気をつけてくれて、ご飯も健康面を考えてたくさん作ってくれました。

そして僕たちを本当の子どものように接してくれて、怒られる事もあったけど、もう一生できないような体験をさせてくれました。僕は実行委員として、回りの人にすごく助けられたと思いました。この農泊で学んだたくさんのお話をこれからにつなげていきたいと思いました。



今回の農泊学習を通して色々なことを学びました。枝集めや道路をきれいにする仕事をしましたが、日頃、町や校内などをきれいにしてもらえることは、簡単でなく体が痛くなるほどがんばってくれているんだなと実感しました。また、行事が成功することは当然のことではなく、その行事を成功させようと、ずっと前から準備をして下さる先生と実行委員がしっかりと働き、クラスのみんなに実行させることが大事なんだと改めて思うことができました。